



なにわ名物

http://www.naniwa-meibutsu.com/

NEWS

2016-No.1

なにわ名物開発研究会

通算第31号 発行:なにわ名物開発研究会
〒542-0074 大阪市中央区千日前2-11-10 いづもやビル4F
TEL:06-6643-3150 FAX:06-6643-3140

「なにわ名物開発研究会」はことし設立20周年。

『異業種・異分野ネットワーク』として数々の先駆的な活動を繰り広げてきました。設立の趣意書、いま見ると「隔世の感」が…いよいよ「国際観光都市大阪」がスタートです。

『なにわ名物開発研究会』設立趣意書 平成8年7月29日

関西国際空港の開港を機に、大阪の各地域で、大小様々なプロジェクトが展開されています。「国際化」、「24時間都市化」…の流れの中で「国際都市・大阪」がさらに注目を集めています。同時に、「観光都市・大阪」の魅力づくりも、大きなテーマとして浮上ってきています。

「大阪」は今や一つのブーム化の波に乗り、「大阪学」なるジャンルが出来つつある中、硬軟様々なアプローチで、大阪のまち、ひと、文化etcをとらえた出版物が書店のコーナーを席巻しています。また、ガイドマップ片手にミナミやキタの街を歩く観光客の姿や、道頓堀や法善寺、通天閣…の「名所」で記念写真を撮る観光客の姿が目立って増えてきました。

その様な中、大阪の「新しい名物」の登場が切望されています。ミナミの「名物看板」をキーホルダーにした「なにわのキャラクター・キーホルダー」は空前のヒット商品として大人気を博し、コピー商品を巡って「デザイン化」の是非も争われてきました。

しかし、大阪=たこ焼き・お好み焼き・名物看板~だけでいいのでしょうか。

大阪は、日本最古の都「難波の宮」が存在した長い歴史を持つ都市であり、近世も日本の経済、文化の中心地として栄えてきた都市なのです。「くだらないもの」という言葉が、いまに伝えられているルーツは、まさに上方から江戸へ多くの素晴らしい「商品」や「文化」が提供され、発信されていた事実を伝えていることを再認識しなければなりません。

しかし、大阪=たこ焼き・お好み焼き・名物看板~だけでいいのでしょうか。

大阪は、日本最古の都「難波の宮」が存在した長い歴史を持つ都市であり、近世も日本の経済、文化の中心地として栄えてきた都市なのです。「くだらないもの」という言葉が、いまに伝えられているルーツは、まさに上方から江戸へ多くの素晴らしい「商品」や「文化」が提供され、発信されていた事実を伝えていることを再認識しなければなりません。

「なにわ名物開発研究会」は、大阪の「よさ」「魅力」を「新しい大阪名物」の開発を通じて、広く内外に発信していく為に、以下の活動を行っています。

- ・大阪の「文化」「歴史」「ひと」「芸能」「アート」「食」、その他、固有の地域資源の発見と掘り起こし。
- ・地場の企業・商業者・クリエイターが協力して行う、「新しいなにわ名物」開発のしくみづくりと実践。
- ・『なにわ名物ショップ』の新たな立地創造の開発・提案。
- ・『なにわ名物ショップ』の店づくりの研究・提案。
- ・『なにわ名物』の開発、製造、流通、販売のシステムをメーカー、小売、飲食、サービス業者、クリエイター、物流業者が協力してつくり上げるための研究・提案・実践。
- ・大阪の「まちづくり」「観光開発」に貢献し、参加するための活動。

いまの部会でいえば「商品開発部会」「ビジネス部会」に関連するテーマがメインでした。20周年を期に、「コト」「ヒト」の新しい大阪名物はもちろん、あの名著「なにわ名物白書」の改訂版発行や、「モノ」の開発を積極的に進めていきたいと思えます。



● 平成27年度総会・記念講演会&ネットワークパーティ

今年度は伊勢志摩サミット開催期間中の5月25日に総会が開催されました。サミット実施安全警備対策の一環ということで生玉神社が使用できなくなり急遽高津宮に会場を変更して開催されました。拜殿での「特別参拝」に引き続き、第1部は総会で平成27年度の事業報告・会計報告、追加幹事選任・役員変更報告に続き、平成28年度の事業計画と収支予算案が報告され承認されました。第2部は観光カリスマ 有馬温泉陶泉御所坊十五代目主人 金井啓修氏に温泉街を変えた老舗旅館主人、観光カリスマの活動についてお話していただきました。この内容は2月にテレビ番組「カンブリア宮殿」でも紹介されました。



また、「カンブリア宮殿」で紹介されていない内容として、光岡自動車の電動三輪車を4人乗りのトライクに改造して、有馬温泉街を走らせる～子どもが楽しんでやりたいことに熱中する～自分が楽しいと思うことをやり続けて周囲も楽しんでくれる～金井さんのこの無邪気さが地域を巻き込み、ファンが集まる源泉としての活動のお話もされました。更に、この地で絶滅危惧状態だった「有馬山椒」復活プロジェクトの戦略も紹介していただきました。楽しみ夢を追いながら、さまざまな制度や人を仕込んでいく戦略～学ぶべき、とても刺激的で楽しい、



示唆にあふれる講演でした。終了後は70人ほどの参加者で「恒例ネットワークパーティ」を同じ場所で賑やかに行いました。

事務局長 山口 義博

● **地域資源開発部会** 担当副代表: 阪上 博通
 部会長: 中井 敏博

**ふるさと大阪の資源の発見・研究を
 テーマに活動を行っていきます**

27年度はJR大阪環状線沿線を訪ねる小さな旅でした。
 ・4月「鶴橋」「桃谷」の桃にちなんだ地名の由来
 ・5月「弁天町」大阪の海の玄関口は今
 ・6月「玉造」勾玉と真田幸村の足跡を訪ねて
 ・7月「西九条」川底トンネルを通過して九条松島遊郭へ
 ・8月「天満」中崎町の町屋、新旧街並みの調和
 ・9月「芦原橋」日本の伝統楽器、和太鼓の里
 ・10月「森之宮」サクラクレパス、大阪図画の原点
 ・11月「大阪城公園」「京橋」大阪砲兵工廠の跡地、ビジネスパーク
 ・12月「福島」バナソニック発祥の地と地獄谷
 ・1月「寺田町」源ヶ端伝説、民話・舍利寺の鐘、天王寺街の縁側プロジェクト参加
 ・2月「野田」天下の台所の核、大阪中央卸売市場探索
 ・3月「新今宮」モダンな街、新世界「再会ジャズライブ」
 など精力的に活動してまいりました。本年度は27年度企画の環状線沿線の積み残しの消化と地下鉄沿線の資源の発見と研究を楽しみ学びたいと思います。



3月「新今宮駅」テーマは～上質な新世界～



大阪地下鉄の歴史は古く昭和6年に着工、戦後の高度成長期を経て南北東西に伸び都市の大動脈として経済発展に寄与してまいりました。多くの人の行ききは衣食住やアート、精神文化の交流をももたらし独自性をつくりあげました。天下の台所大阪は江戸時代より商業が盛んな所で天満の野采、堂島の米、ざこばの魚など食品市場ができあがっていて、滋賀、和歌山、伊勢など地方からうつつてきた人も多くいます。その流れをくんだ大阪商人が豪商となり財閥、大企業へと成長していきます。前半は大阪の企業文化をテーマに、後半は国内、海外のフュージョンによって生み出された文化とは何かさまざまな角度から考えてみたいと思います。また各地域のキーマンに案内人をお願いするつもりです。興味のある人はわが部会へご参加ください!



6月「大阪うどんについて」
 今日亭にて



5月合同部会【広岡浅子のゆかりを訪ねて】



8月【日宮公会堂(国登録重要文化財)にて】

● **4月度例会**

会員の伴ビーアール(株)、伴一郎社長と特別会員の四代目旭堂南陵師匠に船内でガイドしてもらいました。伴社長のお話と南陵師匠のミニ講演付き!「徳」(会員さん)特製の太閤弁当を食べながらの贅沢なクルーズです。お濠から見る大阪城のライトアップ、OBPの夜景が優雅で綺麗でした。



● **ビジネス部会** 担当副代表: 杉浦 正樹
 部会長: 村岡 亮

**大阪の街をもっと楽しく
 ビジネスでできること!**

大阪の街をもっと、楽しく、面白くするために、ビジネスでできることを探ります。
 大阪文化をささえてきた「たにまち」。この活動を現代に復活させるべく、大阪を学び、遊び、楽しみ、応援することを目指します。
 具体的には過去の大阪あきんどとその遊び方、生き方を学び、実践する場を模索していきます♪
 また大阪らしい情報発信をしてして、たくさんの人々を巻き込み、楽しんでいきます。
 商売大好き、人間大好き、遊び大好きな方を大募集します♪

● **商品開発部会** 担当副代表: 山崎 慶次
 部会長: 松山 秀俊

**インバウンドを見据えた「なにわ名物」
 に相応しい「もの・こと・ひと」の開発**

日本への観光客が2014年1300万人を超えました。益々観光客へ魅力的な商品・サービスの提供が求められています。国際的な観点から商品開発やその販路、PRの仕方に至るまで研究と実践が急務です。そこで商品開発部会では、魅力ある文化を通じて商品開発を行います。世間ではクールジャパンと言われていますが、商品開発部会では『ホット大阪』を掲げ、志が高く熱い人々と情熱的に活動します。地域の魅力的な文化を取り上げたり、新しいPR手法を学んだり、そして商品開発も昨年の四天王寺御用達ブランド等コラボレーションを促進する展開を行います。新たな挑戦をされたい方、現状を打開されたい方、なによりもおもしろいことをやってみてみたい方ぜひ当会へ参加いただき一緒に発展して参りましょう!



7月度商品開発部会『金属加工から創造的挑戦をまなぶ』と題し、株式会社光製作所さんにおじゃましました。カタツムリ型蚊取り線香置きや、スタイリッシュな照明器具など、独創的な商品開発に取り組みられていました。工場見学の後、参加者とのディスカッションで、いろいろなアイデアが出ました。異業種の方々のお話を伺うのは本当に刺激になります。

● **総務・広報部会** 担当副代表: 野田 泰久
 部会長: 仲井 敏治

**当会をよく知りたい、
 早く多くの会員と親しくなりたい
 っ方はぜひ総務・広報部会へ!**

総務・広報部会は、総会、月例会、幹事会の運営や、会員名簿のとりまとめ、関係諸団体との渉外活動、電子ツール(ホームページ等)の充実、広報誌の発行など多岐にわたる活動を行っています。特に当期は、Web会員名簿の完備や、産学連携による若者の発掘を目指します。裏方的ではありますが、これらの活動を通じて、当会のいろいろな事業、ひいては全体像や、多くの会員を知るには最適の部会です。それだけではなく、会員交流を積極的に図るのも当部会です。例えば、各部会・チームや懇親会における会員の橋渡しや、宿泊研修旅行などを企画して会員の親睦を推進していきます。早く多くの会員と親しくなりたいっ方は、まず当部会に入って各部会を覗きに行きましょう!

● **6月度例会**

「大阪商人、あきんどの心」と題して、ニチイチェーン元取締役人事部長 西端春枝氏に講演していただきました。
 大阪にスーパーマーケットと言う新しいビジネスモデルを立ち上げ、事業家として生きてこられた西端氏(ニチイの創業者)は、現在、全国商業界ゼミナールの重鎮の一人、たくさんの経営者、商人を育ててこられました。また日本経済の発展にも寄与してこられました。今、天下の台所から一地方都市になっていく大阪、地域経済のなかの諸行無常、もう一度、大阪商人の原点を考えてみました。

● 第19回なにわ大賞贈呈式



2016年、今年も7月28日木曜日「なにわの日」に、第19回となるなにわ大賞贈呈式(も〜て〜式)と受賞パーティーを開催することができました。大賞を受賞されました「大阪アドブトリバー千代崎」様をはじめ9団体にお越しいただき、多くの方が行き交うOCAT1階のホールにおいて実施。審査委員長難波利三先生の毎年恒例の「あんたはエライ!」の表彰、プレゼンターとして協力いただきましたOSK歌劇団高世麻央さんの華やかさが式に彩を添えておりました。

- 【大賞】 大阪アドブトリバー千代崎
 - 【準大賞】 寺西興一(国登録有形文化財建造物 所有者)
 - 【準大賞】 ビヨン・ハイバード
 - 【観光局長特別賞】 チャンバラ合戦-戦IKUSA-
 - 【ストップ温暖化アイデア特別賞】 泉原一弥
 - 【未来につなぐ伝統工芸特別賞】 深江菅細工保存会
 - 【球界の立行司特別賞】 野球界番付社
 - 【なにわ魂の響き特別賞】 松田順司
 - 【選考委員特別賞】 雑誌 上方芸能
- 敬称略



第19回の対象を無事に終え、来年はいよいよ20回の節目に当たり、今一度「なにわ大賞」の意義を考え、大賞の応募時期に限らず秋から春にかけての時期においてもなにかしらの広報活動や応募に向けての勧誘活動、また会の運営に協力していただける会員様諸団体の募集に積極的に取り組みたいと思います。みなさま何卒よろしくお願い申し上げます。



第19回なにわ大賞運営委員長 片桐 新之介

- 後援団体 大阪府・大阪市・大阪観光局・NHK大阪放送局・大阪商工会議所・公益財団法人 関西・大阪21世紀協会・国土交通省近畿運輸局
 - 協賛団体 大阪王将・音羽鮎・くる・ミュゼ大阪・えび家・ふくみや・千房・大和屋本店・大阪堂島商品取引所
 - 選考委員長 直木賞作家 難波 利三
 - 選考委員 大阪府立江之子島芸術創造センター 館長 甲賀 雅章
クリエイティブネットワークセンター大阪メビック扇町所長 堂野 智史
株式会社リンクコーポレーション 代表取締役 牧 香代子
KADOKAWAウォーカー総括編集部 編集長 玉置 泰紀
帝塚山大学名誉教授 森 一貫
大阪大学教授 橋爪 節也
大阪観光局長 溝畑 宏
 - 応募総数 106通
- 順不同・敬称略

● 地域おこしの会in大阪

「地域産業おこしの会」と「なにわ名物は開発研究会」が主催した「地域おこしの会in大阪」フォーラムが2月27日に開催されました。

溝畑宏大阪観光局長の基調講演では、当たり前と思っているもののなかに宝物が一杯ある。我々の目指すのは、関西の観光ハブとしての「大阪」を作ることと話されました。

その後、大阪で活躍される方のリレートーク、地域産業おこしの会メンバーとのクロストークが行われ、これからの「大阪の観光」を考えるうえで貴重なご意見をいただきました。



● 観光研究チーム チームリーダー 星乃勝

昨年10月に発足した「観光研究チーム」は、『観光のひろば』を活用して情報収集や意見交換するとともに、3月に会員の金馬さん(株)ジェイリンクスから、スペインの旅行博の報告をお聞きし、海外の旅行博に「お土産カタログ」が無いとお話から、急遽、4月「大阪お土産カタログ」を作成して、ドバイの旅行博に持って行っていただき、アンケートも取っていただきました。



訪日外国人が急増しています。しかし「爆買い」は姿を消しつつあり、今年度の方針は、観光客も団体旅行から個人旅行へとシフトし、「モノからコトへ」を中心とした観光のあり方に移りつつあります。変化の激しいインバウンド観光について、『観光のひろば』を通じて勉強を重ねるとともに、「インバウンドツアー」の醸成するため、観光素材を持つサプライヤーを集めたプラットフォームを立ち上げる予定です。

● なにわうまいもん探検隊 チームリーダー古川 武志

3月11日(金)、3月特別例会として、太田和彦氏をお招きし、トークショー「太田流居酒屋都市文化論」をスタンダードブックストア心斎橋本店で開催。参加者:64名(内、会員:16名)。終了後は太田氏を囲み「第18回 大阪食べある記」を開催。場所:酒房 一富士。参加者:17名。



3月特別例会



半夏生にて

7月22日(金)、「第19回 大阪食べある記」開催。テーマは「浪花の夏 半夏生のたこを食す」。場所:竹之内。参加者:10名(内、会員:4名)

● 大阪文化チーム チームリーダー 木村裕一

平成28年度 事業計画

※チームを構成する各プロジェクト(団長・隊長・会長・世話役)

- ①OSK日本歌劇団の応援団 団長:山本佳明&(顧問:大熊章悦)
- ②わんぱく文楽探検隊 隊長:木村裕一
- ③大坂三十三所観音めぐり会 世話役:勝亦良彰
- ④なにわ食文化研究会(極上~B級グルメ会) 世話役:村岡 亮
- ⑤なにわ?文化研究会(なにわの?????) 世話役:杉浦正樹
- ⑥お座敷文化研究会(お茶屋探検隊) 世話役:松本和子

a.チーム方針:

大上段に『大阪文化論』を展開するつもりはありません。大阪(なにわ)という土壌に培われた、べたべたの『おおさか文化』です。大阪人によって受け継がれ、熟成された、【ワイン】の様に味わい深い、『美味しい文化』です。これから1年間、【おおさかの文化】を味わってみませんか? 味わいの中に、ほんまもの【なにわ(上方)】文化が見えてくるかもしれません。

b.チーム事業の活動テーマ:『あなたの傍に、なにわの香りが!』



OSK日本歌劇団・春の踊りの観劇後の懇親会で



c.各プロジェクトの実施事業:

- ①5/6. OSK日本歌劇団応援団:松竹座/春のおどり観劇とOSK囲む会
- ②6/13. わんぱく文楽探検隊:社会人のための文楽入門(春野恵子)観劇
- ③7/9. わんぱく文楽探検隊:高津小学校/文楽学習(桐竹勘十郎)参観
- ④7/19. 上方文化再生フォーラム『浪速の食文化』(桂米團治) 参加&なにわ食文化研究会『上方料理する芳』
- ⑤8/10 お茶屋探検隊:島之内 たに川『お茶屋サロン』体験会
- ⑥10/ (予定) OSK日本歌劇団応援団:京都南座/OSK in 京都
- ⑦11/3 (予定) 大坂三十三所観音めぐり(大融寺~四天王寺~御霊神社)
- ⑧11/20.25. わんぱく文楽探検隊:学習発表会(中之島公会堂、高津小学校)
- ⑨12/ (予定)なにわ食文化研究会(なにわ大酒乱会)
- ⑩H29.1/ (予定)なにわ文化チーム主催の新年文化祭



わんぱく文楽探検隊



島之内 たに川にて

● 会員紹介

まつや株式会社は①エステ・ヘアメイクの講師業務、現場への派遣業務、そして関連商品の販売事業を行い、②「ONSHIN事業」(温心カイロ)と「コウノトリ事業」(コウノトリに纏わる商品)でオリジナル商品の製造販売をして、③日本の伝統文化・芸能をコーディネートした「和の宴」をクライアントのニーズに合わせてご提供させていただいております。



まつや株式会社 代表取締役 松本 和子
メイクを入りに、沢山の癒しと元気になっていただける。そんなサービスや情報を提供していくのを基本コンセプトにして社会に役立つ会社を末永く継続して参りたいと思います。

● 新入会員紹介

- 黒川 哲子 株式会社アスウェル
総合ビル管理、警備業、文化財の利活用保護等
- 舟橋 睦美 リアル・ワークス(有)
パーソナルトレーニングジム リアルの運営・ トレーニング指導
- 梅 紀久代 LLPユニバーサルデザイン企画
防災・防犯商品の企画・開発
- 森田登代子 NPO法人ピースポット・ワンフォー
ダンススタジオ・カルチャー
- 藤瀬 淳 大阪府立狭山高等学校 教師
- 赤井 恭子 大同生命保険株式会社

／新／会／員／募／集／中／

なにわ名物開発研究会は、大阪で頑張る「メーカー」「流通」「サービス」「コンサルタント」「クリエイター」など業種・業態、ついには「業」さえも越えたヒト・モノ・コトのネットワーク組織です。毎月の例会を始めとする多彩な行事で、会員間の交流・関係諸団体との交流を図りながら、大阪の活性化を目指しています。現在新会員を募集中。詳細は事務局までお問い合わせください。

【正会員】入会金10,000円 年会費36,000円
【準会員】入会金 5,000円 年会費18,000円

Mail: info@naniwa-meibutsu.com
URL: http://www.naniwa-meibutsu.com/